

特許取得
特許番号 6676659

MEDICAL NANO COAT

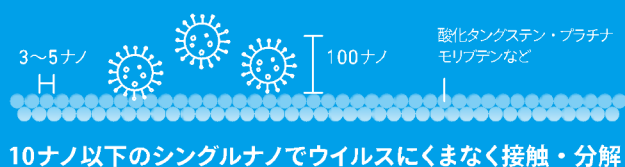
高い安全性、優れた意匠性。
あらゆる素材に付着、世界最高水準のウイルス対策

メディカルナノコート

あらゆる素材を抗ウイルス化 世界最高水準の実力。

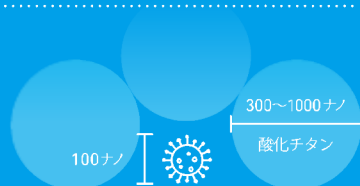
メディカルナノコートは抗菌・抗ウイルス機能を持つナノサイズの無機金属と可視光型の光触媒金属の複合効果で、接地したウイルスを逃さず分解、不活性化。LEDなどの可視光で反応し、今まで効果がなかった寝室などの室内や暗所でも使用可能。どんな素材をもコーティングし、ウイルスを逃しません。

MEDICAL NANO COAT メディカルナノコート



他社・従来の光触媒

ウイルスよりも酸化チタンがかなり大きい
ためウイルスに接触しにくい



他社商品比較

他社で現在販売されている光触媒抗ウイルス加工品とメディカルナノコートとの比較

※光触媒での抗ウイルス関連効果

	他社 一般的な抗ウイルス光触媒製品	MEDICAL NANO COAT メディカルナノコート
分解機能 ウイルスの不活化	ウイルスより粒子が大きい為、 接地面が少ない	ウイルスより粒子が小さい為、 接地面が多く、すぐに分解。
使用可能素材	限定的。ステンレスや木材、 ファブリックには向いていない	全ての素材に付着
光触媒機能が 反応する光量	紫外線(日光)のみ。 LEDや可視光は不可 野球場のライト程度(約 2,000 ルクス) 暗所では機能しない。	可視光でOK。 LED 室内用照明で反応。 寝室程度(約 480 ルクス) 暗所でも抑制する
試験効果: 分解速度 試験用培養ウイルスにて検証	1 億個 ⇨ 2 時間で 2,500 個	1 億個 ⇨ 1 時間で 1 個以下
有機性	あり アルコール系が主。 接着しても剥がれやすい	なし 溶剤自体を舐めても大丈夫。 水性の為、安心安全です。
持続性	—	接着してから3年以上の 効果継続実証済

01

あらゆる素材に付着し、 ウイルスから守る

メディカルナノコートは3〜5ナノという非常に細かい粒子のため、ステンレスや鉄などの金属、木材やファブリックなど、どんな素材に対しても付着可能。しかも、無色透明で白濁することなく意匠性を損なうことなく、今まで難しかった様々な製品に対して抗菌・抗ウイルスコーティングを施すことができるようになりました。



LED・蛍光灯などの可視光、寝室などの暗所でも！

メディカルナノコート
480ルクスで反応

通常のお社商品 **2,000**ルクス必要
※野球場の照明相当

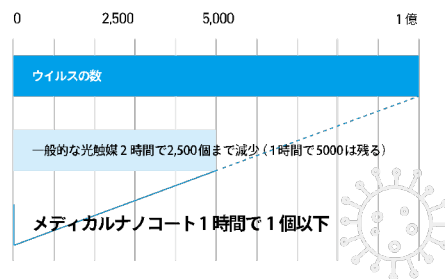
室内・暗所でも 効果を生む光触媒

一般的な光触媒での抗ウイルス加工剤は通常では酸化チタンを使用し、2000ルクスの日光(紫外線)を必要とするため、室外での利用に限定されます。メディカルナノコートは酸化タングステンを使用するため、わずか480ルクスの可視光で反応し、室内でも効果のある、世界最高水準の製品。寝室などの暗所でも抑制機能が働く最高水準の抗ウイルスコーティング剤です。

02

ウィルスの分解、 不活性化スピードが速い

一般的な抗ウイルス製品は、1億個のウィルスを2時間で2,500個まで不活化。メディカルナノコートは1億個のウィルスを1時間で1個以下まで不活化します。しかも寄せ付けられないのではなく、ウィルスを水と二酸化炭素に戻します。



模擬コロナウイルス試験で不活化を実証。 基準をクリアし、子供にも安全、安心

あらゆる性能試験・安全性試験をクリアし確かな効果を実証しています。模擬コロナウイルス試験でもメディカルナノコートはウイルスの不活性化を実証。あらゆる場面で安心してお使いいただけます。また、一般的な光触媒は有機性のアルコール系溶剤なのに対し、メディカルナノコートは無機性溶剤。子供が舐めても問題のない基準をクリアし、肌への影響もテスト済みです。

04

導入実績

メディカルナノコートは世界で初めて国際空港の水際感染予防対策に導入された技術です。2009年の新型インフルエンザ流行時には関西国際空港、羽田国際空港などに導入され効果・持続が実証されています。その他にも、市役所や美術館などの公共施設をはじめ、病院、介護施設、ホテル・旅館などの宿泊施設、高級ブランド店などの商業施設にも導入が進んでいます。カーテンのみならず、内装・室内に施工が可能のため、多様な業態の店舗・施設に導入しやすく持続的効果が期待されています。



2009年新型インフルエンザのパンデミック時に、関西国際空港・羽田国際空港などに導入され、約3年間の効果持続が実証されました。効果の持続は国際学会で発表されています。



徹底した感染予防が求められる医療施設においてもメディカルナノコートが導入され、持続的効果を生み出しています。医療の現場で高い信頼を得ることに成功しています。



衛生管理・ウイルス感染対策の主軸として、多様な利用客が行き交う宿泊施設で導入が進んでいます。日本を代表する大手ホテル、旅館グループでも随時導入開始されています。